

木造都市研究会 木愛の会 主催

木造都市のルネッサンス

木の連歌

シリーズ part17

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回の谷篤子氏にはじまり、武藤隆氏、田中英彦氏、鶴飼哲矢氏、清水秀丸氏、藤岡伸子氏、東海林修氏、米澤貴紀氏、松田和浩氏、山崎真理子氏、古川忠稔氏、関本竜太氏、村上心氏、深尾精一氏、渡邊須美樹氏、太幡英亮氏、佐々木啓芳氏と「木と建築」に関わる多くの優れた建築家や研究者をお招きしてきました。第17回目となる今回は、再生可能な、生物由来の有機性資源として注目されている木質バイオマスを化学的に分析し高度活用荷取り組む福島和彦先生にご講演頂きます。

学生・会員外の方を含め、是非ご参加ください。

代表世話人 清水秀丸（椋山女学園大学）

2021年3月2日（火）
18:00～19:30

web 開催 (Zoom)
参加申込者に ID 等を連絡

参加申込先 木愛の会事務局
kiainokai@gmail.com

最大 100 名（申込期限：2月26日）
参加費 学生・会員：無料 一般：1000円

タイムスケジュール

17:50 受付開始
18:00-19:00 福島和彦先生講演会
19:00-19:30 ディスカッション

(福島先生ご経歴)

名古屋大学教授。愛知県出身。1961年生まれ。名古屋大学大学院農学研究科博士後期課程修了後、名古屋大学農学部助手、助教授を経て現職。1995-1996年フランス国立農業研究機構（Grignon）にて在外研究員。木材主要成分であるリグニンの化学構造を細胞壁形成の観点から研究している。2014-2017年 NPO 法人才の木理事長、2017-2019年一般社団法人日本木材学会会長。著書：木質の形成～バイオマス科学への招待～第2版 福島和彦ら編海青社（2003）他。趣味：歴史探訪、音楽鑑賞、合唱、野球観戦

福島 和彦氏

名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授

木の新しい価値を創る
林業・木材産業の成長産業化に向けて

(主旨) いま、なぜ林業・木材産業が注目されているのか、「木の新しい価値」の観点から考えてみたいと思います。

森林資源を有効に活用すれば、地球温暖化を抑制でき、美しい「木の国、日本」を後世に残していくことに繋がります。また、「持続可能な開発目標(SDGs)」の中には、林業・木材産業と関連が深い項目が多く含まれています。「木の新しい価値」を見出しつつ、産学官が一体となり、木材の利活用を推進していくことが重要です。

